

## 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会 議事概要

- 日 時 平成29年1月12日（木）9：30～9：35
- 場 所 中央合同庁舎第8号館 6階623会議室
- 出席者 原山議員、久間議員、大西議員、十倉議員、橋本議員、  
進藤大臣官房審議官、松本大臣官房審議官、生川大臣官房審議官、  
柳大臣官房審議官、佐藤参事官

### 〔議事概要〕

#### ○原山議員

本日の議題は一つです。「科学技術イノベーション官民投資拡大推進費に係るターゲット領域の検討の進め方について」ということで、公開としてよろしいでしょうか。

(プレス入室)

#### 議題 科学技術イノベーション官民投資拡大推進費に係るターゲット領域の検討の進め方について

○原山議員 では、科学技術イノベーション官民投資拡大推進費に係るターゲット領域の検討の進め方について、生川大臣官房審議官から説明をお願いします。

○生川大臣官房審議官 資料「予シスー1」を御覧ください。科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアチブについては、昨年の12月に経済社会・科学技術イノベーション活性化委員会で最終案が取りまとめられ、総合科学技術・イノベーション会議と経済財政諮問会議の合同会議で報告されました。この中で特にアクション1の予算編成プロセス改革アクションに関連して、平成30年度から科学技術イノベーション官民投資拡大推進費という新しい予算の枠組みの創設が盛り込まれました。

この新しい推進費の運用に当たり、まず、この春にかけて研究開発投資ターゲット領域を

選定をしていくことが必要となります、本日はその検討の為の体制とスケジュールについてお諮りをしたいというものです。

まず検討の体制ですが、ターゲット領域の検討に当たり、ターゲット領域検討委員会という委員会を新たに設置して、検討を進めたいと考えております。委員会の位置付けとしては、総合科学技術・イノベーション会議本会議のもとに設置し、他の専門調査会と同じ位置付けにしたいと考えております。

委員の構成ですが、総合科学技術・イノベーション会議有識者議員8名に加えて、産業界から2名、大学関係者2名、その他ベンチャー系等1~2名とし、合計で13名から14名での構成を想定しております。

その他のところに記載がありますが、議論される内容を考慮し、会議自体は原則非公開とした上で、後日、議事概要を公開する対応としたいと考えております。

資料の裏面は、検討スケジュールですが、1月中は本日の有識者議員会合も含めて、この検討委員会を正式に設置する為の手続をとりたいと考えております。その上で、2月から4月にかけてこの検討委員会を5回程度開催することを想定しています。1回目は事務局からの説明を行い、2回目以降、関係省庁及び産業界等からのヒアリングを実施し、それも踏まえた上で委員会においてディスカッションをし、領域の選定をしていくという手続を考えております。

その上で、4月に総合科学技術・イノベーション会議として、ターゲット領域を正式に決定するプロセスをとり、5月頃には関係省庁に対する説明会を開催し、ターゲット領域及び別途並行して検討している制度の詳細設計について関係省庁に対して説明をさせていただき、具体的な施策の検討を改めて行いたいと考えています。

その後、8月下旬に関係省庁からの対象施策の提案を頂き、9月、10月には対象施策の選定作業、11月ごろには対象施策の決定という形で作業を進めたいと考えています。

以上、ターゲット領域検討の為の体制とスケジュールの案について御説明をさせていただきました。私からの説明は以上でございます。

○原山議員 有難うございました。本件に関して御意見、コメント、御質問等はございますか。

本日は、具体的なアクションに結び付ける為の一歩として、やり方そのものを御提示させていただき、御了承いただければ、その形で進めていくということです。

○大西議員 特にありません。結構だと思います。

(異議なし)

○原山議員 これまでも様々な視点から検討していただきました。よろしいでしょうか。

では、この形で進めて頂くということでお願い致します。有難うございました。

以上